

様式2

平成21年度第3回文化財保護審議会 会議概要

- 1 審議会名 平成21年度第3回文化財保護審議会
- 2 日 時 平成22年3月25日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場 安曇野市明科総合支所 第3会議室
- 4 出席者 百瀬（宗）会長、飯沼委員、宮下委員、宮島職務代理、百瀬（新）委員
- 5 市側出席者 北條文化課長、文化財保護係那須野係長、土屋
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人0人 記者2人
- 8 会議概要作成年月日 平成22年3月31日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

開会（百瀬会長）

あいさつ（北條課長）

審議事項

- (1) 「上長尾の獅子舞」、「潮神明宮の獅子舞と人形飾り物」文化財指定にかかる審議・答申
- (2) 文化振興計画について
- (3) 石造物の指定方針について

報告事項

- (1) 文化財保護事業についての報告

閉会（北條課長）

2. 審議概要

- (1) 「上長尾の獅子舞」、「潮神明宮の獅子舞と人形飾り物」文化財指定にかかる審議・答申

■事前に教育委員会から諮問した内容について、文化財保護審議会から標記2件について安曇野市文化財指定が適当であると答申をいただいた。

- (2) 文化振興計画について

■安曇野市の見方として、国定公園があることの意味が取り上げられていない。

■生業としての蚕、米作り、特に明治から終戦までの農具の変遷などに目を向けてもらいたい。

■臥雲辰致の資料を市民に知らせてもらいたい。

■各地区に残っている資料館を特徴付けて安曇野市らしさを見られるようにすると同時に、保護が必要な資料の保存施設としての役割も考えてほしい。また国営公園との関連も考えてほしい。

■農具などに特色があるので、簡単に資料館を統一するとはいけない。

■安曇野市には文化施設がたくさんあるので、長期的な計画に沿って2～3施設への統合で考えると地域や施設の特色が生かせる。

■資料保管について、将来的な見通しを持って収蔵、多少劣化が考えられても収蔵・活用、教育的役割に集約して活用、といった方法がある。燻蒸を含め収蔵にはお金もかかり、継続性も必要である。どれも中途半端になると長期的には資料が劣化してしまう。紙に書かれたものやフィルムなど新しいものが危険だと思う。

- (3) 石造物の指定方針について

■市内の道祖神を無理して一括指定するのではなく、無形民俗文化財と有形民俗文化財に分けて考える。

3. 報告概要

- (1) 文化財保護事業についての報告

■事務局から平成21年度の事業報告、平成22年度の事業計画を説明する。